



# 財政健全化計画の課題

**通勤手当を含む諸手当の実情、又今後の改善策はあるのか**

**問** 合併をした柳川市では、今度新しく市長になられた石田市長が、専決処分として2km未満4,500円の通勤手当を廃止するとあるが、本市においてはどうかしているのか。又調整手当は3.5%から3%に引き下げられた。その他の手当は、どうなっているのか。

**市長公室長** 筑後市でも、柳川市同様に徒歩通勤者に対する通勤手当、自宅から片道2km未満の者については、通勤手当を支給しない事で、本議会に追加提案する。又時間外勤務手当を含む諸手当は、削減に努力をしていく。

**18年度以降、普通建設事業18億円程度の新規の事業はあるが、新規の事業はできるのか**

**問** 平成8年度には33億

円もの事業費があったものが、平成15年には約16億円と、約半分以下に減少している。この中で新規の事業はやれるのか。又この中に新幹線の事業費は含まれているのか。17年度、21億円の事業費が組まれているが、その主な内容はどうかお尋ねしたい。

**市長** 18億円の中に、新幹線の事業費は、含まれている。17年度の事業費の内、野町八女インター線、市民の森公園、西部地区の公園、

**坂本 好教 議員**

羽小体育館、全部合わせて12億円になり、これが17年度で終わるので厳しい状況に変わりは無いが、新規事業・継続事業は、優先順位を決めて計画的に進めていけばやっていける。

**問** 南西部地域活性化検討プロジェクト委員会という組織があるが、どういう組織なのか。

**市長公室参事** 企業誘致を主目的とした組織ではない。地域住民の方の活動を支援する組織である。



羽犬塚小学校体育館の建替え工事

# 発達障害者の支援と体制づくりは

## 体制づくりは

**消防団員の支援は十分か**

**問** 今年4月、自閉症や学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)などの障害の早期発見、治療の充実をうたう発達障害者支援法が施行された。本市では、これからの支援と体制づくりをどのように図っていくのか。

**学校教育課長** 早期発見のためには、就学前の対応が重要である。特に幼児健診等を行う健康づくり課、保育所・幼稚園の関係から福祉事務所等との連携を図りながら推進していく。

**問** 古川小学校にことばの教室(言語通級指導教室)が開設され、聞こえと言葉に障害をもつ、筑後市と八女市郡の小学生19人が通っている。就学前のお子さんもここを利用できるようにしたらどうか。

**教育長** 単に筑後市だけで取り組むとなると、ある程度法的制約はかかると思うが、ぜひ新しい発想として検討する。

**矢加部茂晴 議員**

ないように、できることから手助けしていきたい。

**問** 昨年、市民の森公園の駐車場は放水訓練ができるように設計変更し、筑後支部の操法大会を開催した。建設中の県南公園の駐車場を訓練場としても使えるようになるか。

**建設部長** 消防署と一緒に福岡県に話をする。



古川小学校にあることばの教室(言語通級指導教室)